

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平8-119523

(43) 公開日 平成8年(1996)5月14日

(51) Int.Cl.⁶

B 6 5 H 35/07

識別記号

庁内整理番号

H

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数 3 F D (全 5 頁)

(21) 出願番号

特願平6-284394

(22) 出願日

平成6年(1994)10月24日

(71) 出願人

391048991

仁礼工業株式会社

東京都三鷹市下連雀7丁目1番8号

(72) 発明者

仁礼 重信

東京都三鷹市下連雀7丁目1番8号 仁礼工業株式会社内

(72) 発明者

白川 裕二

東京都三鷹市下連雀7丁目1番8号 仁礼工業株式会社内

(72) 発明者

日高 智春

東京都三鷹市下連雀7丁目1番8号 仁礼工業株式会社内

(74) 代理人

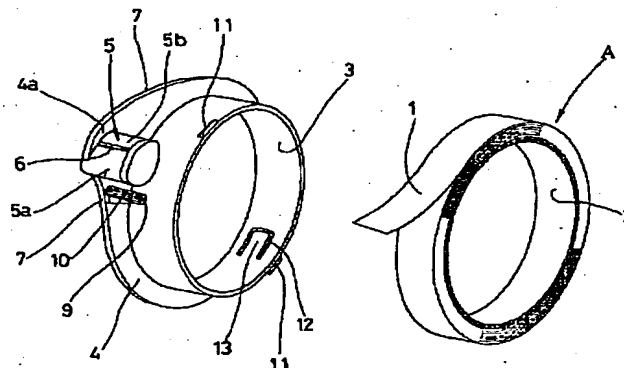
弁理士 瀬川 幹夫

(54) 【発明の名称】 テープホルダ

(57) 【要約】

【目的】 テープの引き出し量を大きくとることができ、しかも取り扱いも楽にできるテープホルダ

【構成】 スプール3の一端から立ち上げた周壁部4の幅を切断部5に対応する部位を除いて略等しく、切断部5に対応する周壁部4は幅広に形成し、両周壁部4を緩やかな傾斜部7で連結するとともに、周壁部4の内側面からテープ切断部5とスプール3との間に軸状部9を直角に突出し、この軸状部9の表面に凹凸10を形成し、スプール3の他端には少なくとも1個のテープの抜け止め用係合部11を形成した。



BEST AVAILABLE COPY

1

【特許請求の範囲】

【請求項1】 粘着テープ又は自着性テープのロールを回転自在に支持する短円筒状のスプールと、その一端から立ち上げ形成された周壁部と、周壁部の内側面から直角に突出されたテープ切断部とを備え、

上記周壁部の幅を切断部に対応する部位はやや幅広に、その他の部位は略等しく形成し、上記両部位の周壁部を緩やかな傾斜部で連結するとともに、

上記周壁部の内側面からテープ切断部とスプールとの間に軸状部を直角に突出し、この軸状部の表面に凹凸を形成し、

上記スプールの他端には少なくとも1個のテープの抜け止め用係合部を形成したことを特徴とするテープホルダ。

【請求項2】 前記スプールの一部にはU字形のスリットを形成し、スリットの内側にテープのロールの内周面を弾性的に押圧する押圧片を形成した請求項1記載のテープホルダ。

【請求項3】 前記周壁部のテープ切断部に対応する部位には、ペン立て用の穴が形成された請求項1又は2に記載のテープホルダ。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は巻装された粘着テープや自着性テープのロールを保持するためのテープホルダに関する。

【0002】

【従来技術】 一般に、テープホルダは粘着テープを対象としたものが多い。ところが、最近はこの種のテープとして他の物には接着しないが、自己にのみ接着する自着性テープが開発されている。これはポリプロピレンフィルム又はポリエステルフィルムに特殊コーティング加工を施したもので、日本光ファイバー株式会社製で「ベサルテープ」の商標名で販売されている。このような自着性テープにはテープ自身には接着するが、他のものには接着しないという性質があり、つまり対象物に接着しないので対象物が破損することがなく、特に本や雑誌などの印刷物や花束などを結束するのに便利である。

【0003】 ところが、自着性テープは粘着テープのように少しずつカットして使用するものとは異なり、一度にテープを引き出す引き出し量（巻き戻し量）が大きいから、ホルダ自体の形状を工夫する必要があった。

【0004】 また、従来のテープホルダは取り扱いが面倒であった。

【0005】

【発明の目的】 本発明は前記欠点を解消し、テープの引き出し量を大きくとることができ、しかも取り扱いも楽なテープホルダを提供することをその目的とする。

【0006】

【目的を達成するための手段】 前記目的を達成するた

2

め、本発明に係るテープホルダは、粘着テープ又は自着性テープのロールを回転自在に支持する短円筒状のスプールと、その一端から立ち上げ形成された周壁部と、周壁部の内側面から直角に突出されたテープ切断部とを備え、上記周壁部の幅を切断部に対応する部位はやや幅広に、その他の部位は略等しく形成し、上記両部位の周壁部を緩やかな傾斜部で連結するとともに、上記周壁部の内側面からテープ切断部とスプールとの間に軸状部を直角に突出し、この軸状部の表面に凹凸を形成し、上記スプールの他端には少なくとも1個のテープの抜け止め用係合部を形成したことを特徴とする。

【0007】 なお、前記スプールの一部にはU字形のスリットを形成し、スリットの内側にテープのロールの内周面を弾性的に押圧する押圧片を形成するのが好ましい。

【0008】 また、前記周壁部のテープ切断部に対応する部位には、ペン立て用の穴を形成するのがよい。

【0009】

【発明の作用、効果】 本発明によれば、テープのロールを装着するときはその巻き芯をスプールに嵌め込めばよい。ロールがスプールの一端の係合部を越えたとき、ロールの外側は係合部に係合するので、ロールがリールから抜け出すのが防止される。ロールはスプールに嵌込むだけで簡単に装着できる。

【0010】 テープを使用するにあたっては、本などの被結束物を結束する場合のように自着性テープをスプールから比較的長く引き出すときは、通常は片手の親指以外の4本の指をスプールに入れて支持し、テープホルダを被結束物のまわりに回しながらテープを連続的に引き出す。この場合、スプールの一侧から立ち上げ形成された周壁部の幅は切断部に対応する部位を除いて略等しく、切断部に対応する周壁部は幅広に形成し、上記両周壁部を緩やかな傾斜部で連結されている。つまり、周壁部は略ドーナツ状に形成されているので、回転したときに周壁部が使用者の手の内側に当たりにくい。したがって、テープホルダを被結束物のまわりに連続的に回転させやすく、テープの引き出しが楽である。

【0011】 また、粘着テープも同要領で使用できるが、この場合、テープ切断部で切断後、テープの粘着面を軸状部に当てることにより、粘着面は軸状部に接着するが、軸状部には凹凸部が形成されているので、粘着面はその一部のみが接着するだけであるから、接着力は弱く、テープの先端部は軸状部に良好に保持されるとともに簡単に剥すことができ、便利である。

【0012】 請求項2の発明によれば、切断部で切断されたテープの先端部は軸状部に保持される。そして、ロールの内面を押圧片が弾性的に押圧するから、その摩擦抵抗によりロールは自由回転しにくい。このため、テープの先端部は軸状部に係合した状態で保持され、次の使用時には簡単に掴んで引き出すことができる。

【0013】また、粘着テープも同じ要領で使用できるが、この場合、テープ切断部で切断後、テープの粘着面を軸状部に当てることにより、粘着面は軸状部に接着するが、軸状部には凹凸部が形成されているので、粘着面はその一部のみが接着するだけであるから、接着力は弱く、テープの先端部は軸状部に良好に保持されるとともに簡単に剥すことができ、便利である。

【0014】請求項3の発明によれば、机上にテープホルダを横置きしてそのペン立て用の穴にボールペンや鉛筆を差し込んで立ておくことができるので、非常に便利である。

【0015】

【実施例】図1はテープホルダとテープロールを示すもので、このテープホルダは合成樹脂から構成され、自着性テープ1のロールAの巻き芯2を回転自在に支持する短円筒状のスプール3と、その一端から立ち上げ形成された周壁部4と、周壁部4の内側面から直角に突出されたテープ切断部5とを備えたもので、スプール3の一端からロールAの巻き芯2を嵌込み、スプール3に支持された自着性テープ1を所要の長さだけ引き出してテープ切断部5のカッタ6で切断して使うものである。

【0016】上記周壁部4の幅はテープ切断部5を除いて略等しく、テープ切断部5に対応する周壁部4aは幅広に形成されているとともに、上記両周壁部4は緩やかな傾斜部7で連結され、全体としてドーナツ状に形成されている。

【0017】上記周壁部4の内側面からテープ切断部5とスプール3との間に軸状部9が直角に突出され、その表面には凹凸10が形成されている。

【0018】また、上記スプール3の周壁部4の反対側の端部には2個の係合部11が形成されている。そして、スプール3にはU字形のスリット12が形成されている。そして、スリット12の内側には押圧片13が形成され、図2のように該押圧片13の先端にはスプール3の外周面よりも高く突出した山形凸部14が形成されている。

【0019】さらに、周壁部4の内側面から突出したテープ切断部5はテープの巻き方向に細長に形成され、その軸状部9側の端部5aの断面は半円弧状に形成され、他方の端部5bにはカッタ6が取り付けられている。図3のように、上記端部5bの一端に形成された溝15にはカッタ6が圧入され、反対側の端部5aはローラ状に形成されている。そして、テープ切断部5の端部にはキャップ16が嵌め込まれている。

【0020】テープ切断部5に対応する部位の周壁部4aには、図4に示されるようにペン立て用の穴17が形成されている。

【0021】前記構成のロールAを装着するときは、図5のようにスプール3の一端からロールAの巻き芯2を嵌込む。ロールAがスプール3の一端の係合部11を越

えたとき、ロールAの外側は係合部11に係合するので、ロールAがスプール3から抜け出すのが防止される。ロールAはスプール3に嵌込むだけで簡単に装着できる。

【0022】次に、テープ1を使用するにあたり、図6のように、本などの被結束物18を結束する場合のように比較的長く巻き戻すときは、片手の親指以外の指をスプール3に入れ、親指をロールAの上に当ててテープホルダを支持し、テープホルダを被結束物18のまわりに回しながらテープ1を引き出す。このようにテープホルダを回転させる場合、スプール3の一端から立ち上げ形成された周壁部4は略ドーナツ状に形成されているので、回転したときに使用者の手の内側に当たりにくい。したがって、テープホルダを回転させやすく、テープの引き出しが楽である。

【0023】さらに、親指でロールAが回らないように押えて引き出したテープを被結束物18の回りに回し、テープ切断部5のカッタ6で切断し、その端部をテープの他の部分に押し当てて接着させ、結束作業が完了する。

【0024】ところで、軸状部9はロールAから巻き戻されてテープ切断部5で切断されたテープ1の先端部1aを保持しておくもので、このテープ部分1aは軸上部9に係合してロールAから引き離され、次の使用時に手で簡単に掴むことできる。このように切断されたテープの先端部1aは軸状部9上に保持されるが、ロールAから剥かれた状態になっているので、もしもロールAがスプール3上を回転すると、上記テープの先端部1aは軸状部9から外れてしまう。しかし、ロールAの内面を押圧片13の山形凸部14が弾性的に押圧するから、その摩擦抵抗によりロールAは自由回転しにくい。このため、テープ1の先端部1aは軸状部9に係合した状態で保持され、次の使用時には簡単に掴んで引き出すことができる。

【0025】上記テープホルダは通常の粘着テープにも使用できる。この場合も上述と同じ要領で使用すればよいが、テープ切断部5で切断後、テープ1の粘着面を軸状部9上に当てることにより、図5のように粘着面は軸状部9に接着するが、軸状部9には凹凸10が形成されているので、粘着面はその一部のみが接着するだけであるから、テープ1の端部は軸状部9上に良好に保持されるとともに簡単に剥すことができ、便利である。

【0026】また、テープ切断部5の刃の反対側の端部5aはローラ状に形成されているので、図7のようにこの端部は対象物19の表面にテープ1を密接させて押し付けながら移動させることができるので、片手で接着操作できる。

【0027】さらに、机上にテープホルダを横置きしてそのペン立て用の穴17にボールペンや鉛筆を差し込んで立ておくことができるので、非常に便利である。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明に係るテープホルダとテープロールの斜視図

【図2】上記テープホルダの押圧片部分の断面図

【図3】上記テープホルダの使用状態を示す斜視図

【図4】上記テープホルダの平面図

【図5】上記テープホルダにテープロールを装着した状態の斜視図

【図6】自着性テープによる結束状態説明図

【図7】粘着テープの使用の一態様の説明図

【符号の説明】

A ロール

1 自着性テープ

3 スプール

4 周壁部

5 テープ切断部

9 軸状部

10 凹凸

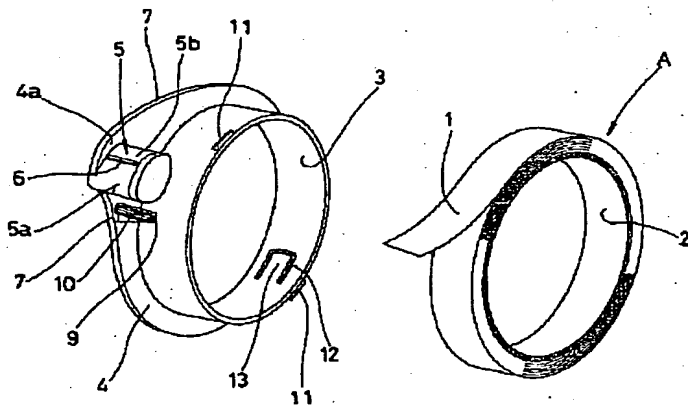
11 係合部

12 スリット

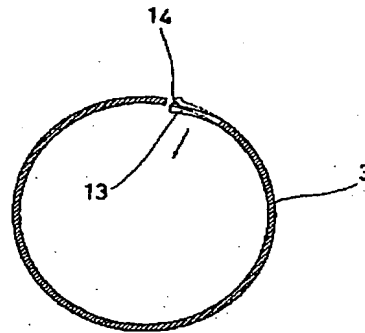
10 13 押圧片

17 ペン立て用の穴

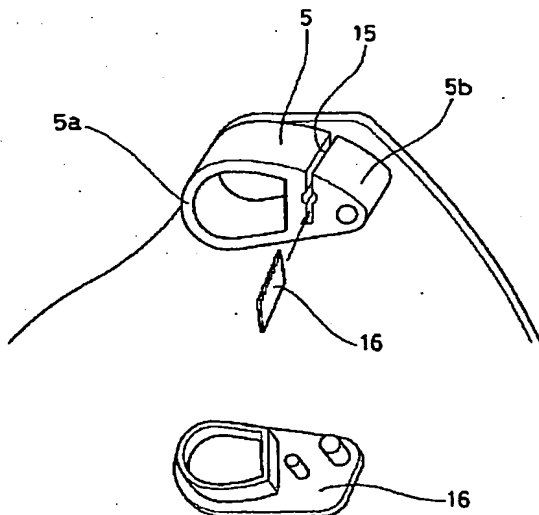
【図1】



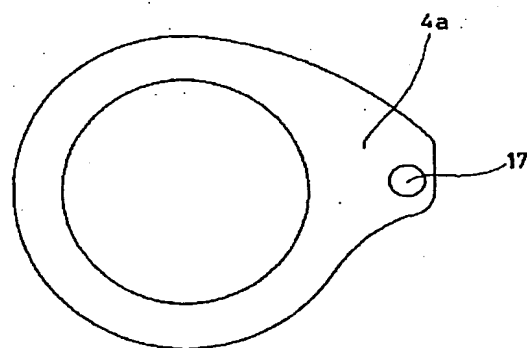
【図2】



【図3】



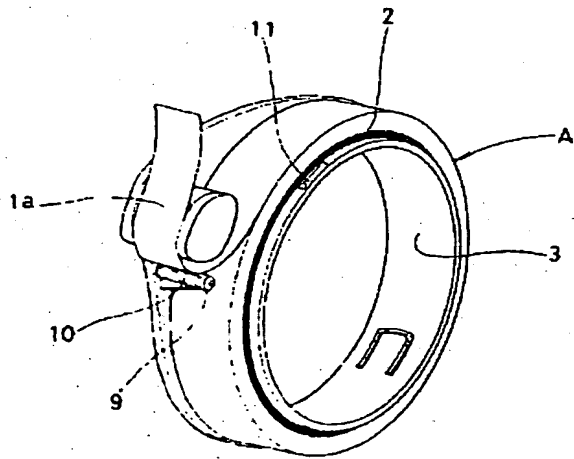
【図4】



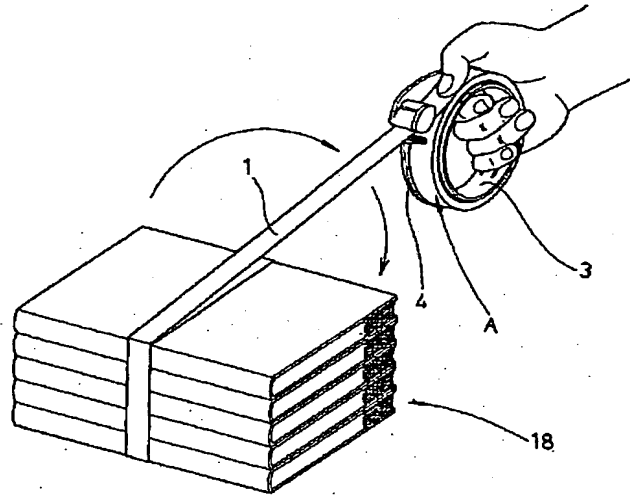
(5)

特開平8-119523

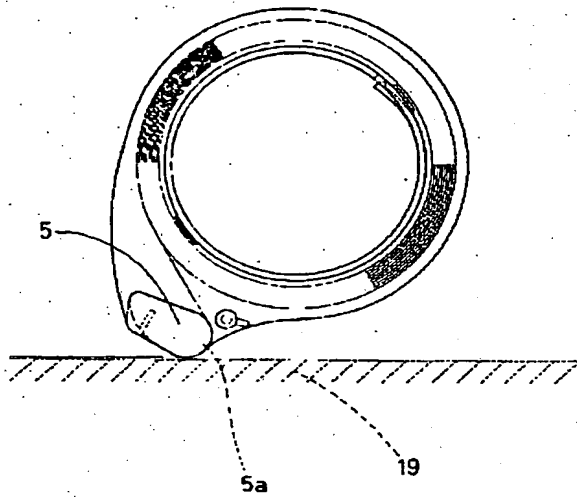
【図5】



【図6】



【図7】



BEST AVAILABLE COPY



H-I TRANSLATION SERVICE LTD.

Cleveland

Akron

Milwaukee

Languages of the globe

December 9, 2004

To Whom It May Concern:

This is to certify that the attached document, embossed by H-I Translation Service Ltd., has been translated by a Japanese translator who is fluent in both Japanese and English. It is a true and accurate translation, to the best of our ability, of the document presented to us, namely the:

PATENT PUBLICATION NUMBER: 8-119523

TAPE HOLDER


DATE OF DISCLOSURE: MAY 14, 1996.


Peter J. Inglin
H-I Translation Service, Ltd.



State of Ohio
County of Cuyahoga

Before me, a Notary Public, personally appeared the above named
Peter J. Inglin who acknowledges that he did sign the
foregoing instrument and that the same is his free act and deed. In
the Testimony Whereof, I have hereunto affixed my name and official
seal on this _9th_ day of _December_, 2004.


PAMELA S. WALICK
Notary Public, State of Ohio
My Commission Expires April 30, 2008

(19) JAPANESE PATENT OFFICE (JP)

(12) PUBLICATION OF UNEXAMINED PATENT APPLICATION (A)

(11) Kokai (Unexamined) Patent Publication Number: 8-119523

(43) Date of Disclosure: May 14, 1996

(51) Int. Cl. ⁶	Identif. Symbol	FI	Technology Indication
B 65 H 35/07	H		

Examination requested: not yet requested
Number of Claims: 3 FD (total of 5 pages)

(21) Application Number: 6-284394

(22) Application Date: October 24, 1994

(71) Applicant: 391048991
Nire Kogyo K. K. Company
Tokyo-to, Mitaka-shi Shita Rensho
7-chome, 1-ban, 8-go

(72) Inventor: Shigenobu NIRE
c/o Nire Kogyo K. K. Company
Tokyo-to, Mitaka-shi Shita Rensho
7-chome, 1-ban, 8-go

(72) Inventor: Yuji SHIRAKAWA
c/o Nire Kogyo K. K. Company
Tokyo-to, Mitaka-shi Shita Rensho
7-chome, 1-ban, 8-go

(72) Inventor: Tomoharu HIDAKA
c/o Nire Kogyo K. K. Company
Tokyo-to, Mitaka-shi Shita Rensho
7-chome, 1-ban, 8-go

(74) Representative: Mikio ASEGAWA, patent attorney

(54) (Title of the Invention) TAPE HOLDER

(57) (Summary)

(Goal)

To provide a tape holder enabling not only to increase the drawing amount, but also easy handling.

(Construction)

The width of a peripheral wall part 4, which is raised from one end of a spool 3, is formed roughly equal with the exception of a region opposite a cutting part 5, and the peripheral wall 4 corresponding to the cutting part 5 is formed wider, while both peripheral wall parts 4 are connected by a slightly inclined part 7. At the same time, a shaft-shaped part 9 is formed at right angle so that it is protruding from the inner side face of the peripheral part 4 between the tape cutting part 5 and the spool 3, an irregularity 10 is formed on the surface of this shaft-shaped part 9 and at least one engagement part 11 is formed on the other end of spool 3 to stop falling of the tape.

[see figure]

[page 2]

(Scope of the Patent's Claims)

(Claim 1)

A tape holder, characterized by the fact that it is equipped with a spool in the shape of a short cylinder, which supports free rotations of a roll of adhesive tape or self adhesive tape, while a peripheral wall part is formed so that it is raised from one end of the spool, with a tape cutting part, protruding at right angle from the inner side face of the peripheral part;

the region corresponding to the cutting part and having the width of said peripheral wall part is formed slightly wider, while other regions are formed approximately equivalent, and the peripheral wall part in both said regions is connected with a slightly inclined part;

wherein at the same time, a protruding shaft-shape part is formed at right angle from the inner side face of said peripheral wall part between the tape cutting part and the spool, an irregularity is formed on the surface of this shaft-shape part, and at least one engagement part is formed to stop falling of the tape on the other end of said tape.

(Claim 2)

The tape holder described in claim 1, characterized by the fact that a U-shaped slit is

formed in one part of said spool, and a compression piece which applies elastic pressure to the inner peripheral face of the tape spool is formed on the inner side of the slit.

(Claim 3)

The tape holder described in claim 1 or 2, characterized by the fact that a hole for a pen holder is formed in the region corresponding to the tape cutting part of said peripheral wall.

(0001)

(Sphere of Industrial Use)

This invention related to a tape holder which holds an adhesive tape such as a rolled up self-adhesive tape role.

(0002)

(Prior Art Technology)

Generally speaking, there are many tape holders designed for adhesive tape. Incidentally, a tape of type developed most recently provides a self-adhesive type of tape which will not adhere to other items but only to the tape itself. Such tape items are treated with special coating for polypropylene film or polyester film, and Nihon Hikari K. K. Company developed such a tape under the commercial name "besar tape". This kind of tape is characterized by the fact that while the tape is adhesive to the tape itself, it will not adhere to other items. In other words, since it will not damage other items because it will not adhere to other objects, it can be conveniently used to create bundles of specific flat objects such as books or magazines or other printed matters, or bind together flowers bouquets or the like.

(0003)

Incidentally, because unlike other kinds of adhesive tapes which are cut off in small amounts, this type of self-adhesive tape is used in large amounts once the tape is drawn (with a large rolled up amount), a special design was required also for the holder unit itself.

(0004)

In addition, handling of the tape holders according to prior art was cumbersome.

(0005)

(Goal of the Invention)

In view of the disadvantages mentioned above, the goal of the present invention is to

provide a tape holder which makes it possible to draw a large amount of tape and which also enables easy handling.

(0006)

(Means to Achieve the Goal)

In order to achieve this goal, the tape holder according to this invention is equipped with a spool in the shape of a short cylinder supporting free rotations of a roll of an adhesive tape or a self adhesive tape, a peripheral wall part is formed so that it is raised from one end of the spool, and provided with a tape cutting part, protruding at right angle from the inner side face of the peripheral part; wherein the region corresponding to the cutting part is formed slightly wider in the width of said peripheral wall part, while other regions are formed approximately equivalent, so that the peripheral wall part in both said regions is connected with a slightly inclined part. At the same time, a protruding shaft-shape part is formed at right angle from the inner side face of said peripheral wall part between the tape cutting part and the spool, an irregularity is formed on the surface of this shaft-shape part, and at least one engagement part is formed to stop falling of the tape on the other end of said tape.

(0007)

In addition, it is desirable when a slit in the form of letter U is formed in one part of said spool, and a pressure piece applying elastic pressure is formed to apply pressure to the inner peripheral face of the tape roll on the inner side of the slit.

(0008)

It is also desirable when a hole used for a pen holder is formed in the region corresponding to the tape cutting part of said peripheral wall part.

(0009)

(Operation and Effect of the Invention)

According to the invention, it is desirable when a winding core is engaged in the spool when the tape roll is being mounted. When the roll exceeds the engagement part on one end of the spool, since the roll is engaged on the other side of the roll, this makes it possible to prevent disengagement of the roll from the spool. The roll can thus be easily mounted by simply engaging the roll in the spool.

(0010)

When the tape is being used so that the tape is extended relatively far from to spool, for example in order to bind together oblong objects such as books to be bundled with a self-

adhesive tape, four fingers of one hand with the exception of the thumb are normally used to hold and support the spool from within so that the tape is continuously extended while the tape holder is rotated for the objects to be bound together. In this case, the width of the peripheral wall part formed so that it is raised from one side of the spool is formed roughly equal except for the region corresponding to the cutting part, while the peripheral wall part corresponding to the cutting part is formed wider and both peripheral wall parts are linked by a slightly inclined part. In other words, because the peripheral wall part is formed with the doughnut shape, it is difficult for the hand of the user to touch the inner side of the peripheral wall part during rotations. Accordingly, the tape holder can be easily rotated continuously around objects to be bound together while the tape can be easily extended.

(0011)

Further, although an adhesive tape can be used roughly in the same manner, since in this case, after the tape has been cut with the tape cutting part, the adhesive face of the tape will come into contact with the upper part of the shaft-shaped part, and although the adhesive face will adhere to the shaft-shaped part, since an irregular part is formed in the shaft-shaped part, a weak adhesive force will be applied by this adhesive face only to one part thereof, so that the front end part of the tape can be supported in an optimal manner on top of the shaft-shape part and it can be peeled off easily and conveniently.

(0012)

In accordance with claim 2 of this invention, the front end part of a tape that is cut with the cutting part supported on the shaft-shaped part. Also, since elastic pressure is applied by a compressing piece to the inner face of the roll, the friction resistance of the compressing piece hinders free rotations of the roll. The front end piece of the tape can thus be supported in an engaged state by the shaft-shaped part so that the tape can be easily grasped and extended during the next use.

[page 3]

(0013)

Further, although an adhesive tape can be used roughly in the same manner, since in this case, after the tape has been cut with the tape cutting part, the adhesive face of the tape will come into contact with the upper part of the shaft-shaped part, and although the adhesive face will adhere to the shaft-shaped part, since an irregular part is formed in the shaft-shaped part, a weak adhesive force will be applied by this adhesive face only to one part thereof, so that the front end part of the tape can be supported in an optimal manner on top of the shaft-shape part and it can be peeled off easily and conveniently.

(0014)

In accordance with claim 3 of this invention, since a tape holder is placed on top of a desk in the horizontal position, a very convenient design can be created by creating a hole for a pen holder or for a pencil, so that a pen or a pencil can be inserted in it so that it stands up in the holder.

(0015)

(Embodiment)

Figure 1 shows a tape holder and a tape roll, wherein the tape holder, which is made of a synthetic resin, is provided with a spool 3 having the shape of a short cylinder supporting a winding core 2 of a roll A of an adhesive tape 1 so as to enable free rotations. The tape holder is further equipped with a peripheral wall part 4, formed so that it is raised from one end thereof, and with a tape cutting part 5, which protrudes at right angle from the inner side face of the peripheral wall part 4 so that the winding core 2 of the roll A is engaged on one side of the spool 3 and the self-adhesive tape 1, supported by spool 3, can thus be extended only by the required length and then cut with a cutter 6 of the tape cutting part 5.

(0016)

The width of said peripheral wall part 4 is roughly identical with the exception of the tape cutting part 5, while a peripheral wall part 4a corresponding to the tape cutting part 5 is formed with a wider width. At the same time, both said peripheral wall parts 4 are connected with a slightly inclined part 7 and the entire unit is formed in a doughnut shape.

(0017)

A shaft-shaped part 9 is formed protruding at right angle from the inner side face of said peripheral wall part 4 between the tape cutting part 5 and the spool 3, while an irregularity 10 is formed on its surface.

(0018)

In addition, two individual engagement parts 11 are formed at the end part on the side opposite the peripheral wall part 4 of said spool 3. Further, a U-shaped slit 12 is formed in the spool 3. Furthermore, a compression piece 13 is formed on the inner side of the slit 12 and as shown in Figure 2, a convex part 14 is formed with the mountain shape so that it is extended high above the outer peripheral face of the spool 3 on one end of compression piece 13.

(0019)

Also, the tape cutting part 5 protruding from the inner side face of the peripheral part 4 is

formed elongated in the direction of the winding of the tape, the cutting face of the end part 5a on the side of this shaft-shaped part 9 is formed with a semicircular claw shape and a cutter 6 is attached to an end part 5b on the other side. As shown in Figure 3, the cutter 6 is pressed into a groove 15 formed at one end of said end part 5b and the end part 5a on the opposite side is formed in the roll shape. Furthermore, a cap 16 is engaged in the end part of the tape cutting part 5.

(0020)

A hole 17, used as a pen holder, is formed as shown in Figure 4 in the peripheral wall part 4a in the region corresponding to the tape cutting part 5.

(0021)

When a roll A is mounted in the construction described above, as shown in Figure 5, the winding core of the roll 2 of the roll A is engaged from the side of the spool 3. When the roll A exceeds the engagement part 11 on one end of the spool 3, it will be engaged by the engagement part 11 on the other side of the roll A and disengagement of the roll A from the spool 3 can thus be prevented. The roll A can therefore be mounted easily by simply engaging it in the spool 3.

(0022)

Next, when the tape 1 is used as shown in Figure 6 while a relatively large length is repeatedly drawn in order to bind together bound objects 18 such as books or similar objects, the spool 3 is held by the fingers of one hand with the exception of the thumb, so that the thumb is in contact with the upper part of the roll A and support the tape holder, and so that the tape 1 is drawn while the tape holder is being rotated around the bound object 18. When the tape holder is rotated in this manner, it is difficult for peripheral wall part 4, which is formed so that it is raised from one side of the spool 3 roughly in the doughnut shape, to come into contact with the inner side of the hand of a user who is carrying out this revolving movement. Accordingly, to tape holder can thus be easily rotated and the tape can be extended comfortably.

(0023)

Further, the thumb is not used for rotations but for support when extended tape is moved around a bound object 18, and cutting is performed with the cutter 6 of the tape cutting part 5 so that one end part thereof presses on and adheres to another part of the tape, which concludes the binding operation.

(0024)

Incidentally, since the shaft-shaped part 9 is deployed so that it is supported by the front end part 1a of a cut tape 1, this tape part 1a is engaged by the upper part of the shaft 9 so that the tape can be peeled off from the roll A and so that it can be easily grasped by hand during the next

use. Because a tape that is cut in this manner is supported on the shaft-shaped part 9, the front end part 1a of said tape can in the end slip off from the shaft-shaped part 9 even if the roll A is revolved around the spool 3 in the state when the tape is peeled off. However, since elastic pressure is applied by the mountain-shaped convex part 14 of the compression piece 13 on the inner face of the roll A, free rotations of the roll A are thus hindered by this friction resistance. Therefore, the front end part 1a of the tape 1 can be supported in the state when it is engaged by the shaft-shaped part 9 so that it can be easily grasped and extended during the next use.

(0025)

The tape holder explained above can be also used for ordinary adhesive tape. While it can be used roughly in the same manner also in this case, after the tape has been cut with the tape cutting part 5, since the adhesive face of the tape 1 will be in contact with the top of the shaft-shaped part 9, as shown in Figure 5, the adhesive face will adhere to the shaft-shaped part 9, but since an irregular part 10 is formed in the shaft-shaped part 9, the adhesive face will adhere only to one part thereof so that the end part of the tape 1 can be supported in an optimal manner on the shaft-shaped part 9 and so that it can be peeled off from it easily and conveniently.

(0026)

Also, because the end part 5a on the side opposite the blade of the tape cutting part 5 is formed with the roller shape, as shown in Figure 7, the part can be moved when pressure is applied while the end part is in close contact with tape 1 on the surface of the target object 19, so that close contact operations can be carried out with one hand.

(0027)

Furthermore, a very convenient design is also created because a ball point pen or a pencil can be inserted into the hole 17 created as a pen holder horizontally in a tape holder placed on a desk.

(Brief Explanation of Drawings)

(Figure 1)

An inclined view of a tape roll and a tape holder relating to the present invention.

(Figure 2)

An inclined view of the compression piece part of said tape holder.

(Figure 3)

A profile view indicating a state when state tape holder is used.

(Figure 4)

A plane view of said tape holder.

(Figure 5)

An inclined view of said tape holder and tape roll in the mounted state.

(Figure 6)

An explanatory diagram explaining the binding mode performed with a self-adhesive tape.

(Figure 7)

An explanatory diagram explaining the mode when an adhesive tape is used.

(Explanation of Symbols)

A	roll
1	self-adhesive tape
3	spool
4	peripheral wall
5	tape cutting part
9	shaft-shaped part
10	irregularity
11	engagement part
12	slit
13	compression piece
17	pen holder hole

(Figure 1)

(Figure 2)

(Figure 3)

(Figure 4)

[page 6]

(Figure 5)

(Figure 6)

(Figure 7)